

授 業 名	ファッション論				開 講 学 年	2・3回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Clothing Culture				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	馬場 まみ				対 象 学 生	現代家政2回生・3回生				
授業の概要	ファッションは、時代により、また地域によって多様である。本講義では、日本と西洋のファッションの流れをたどり、現代ファッションの特色と現代的課題について考える。理解を深めるために、適宜映像を鑑賞しディスカッションを行う。									
学 修 成 果 到 達 目 標	1．日本と西洋のファッションの変化を説明することができる。 2．現代的なファッションの成立について理解することができる。 3．現代社会におけるファッションにかかわる課題を理解できる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解				汎用的技能				
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力				
アクティブ・ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 （ 80 ％ ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		平常試験 （ 20 ％ ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解      コミュニケーション能力      プレゼンテーション能力      課題発見・解決能力 授業態度・参加意欲      （      ）      （      ）      （      ）								
テ キ ス ト	指定しない									
参 考 書	授業で随時紹介する。									
課題に対する フィードバック の方法	提出物については理解度を確認し解説を行う。									
留 意 事 項										
オ フ ィ ス ア ワ ー	毎週1回（休業期間中を除く）設定します。ただし、会議や出張などで対応できない場合があります。									
実 践 的 教 育										

授 業 名	ファッション論	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	科目ガイダンス	(学修内容) 講義内容と授業の進め方について  (事前事後学修課題の内容) (10分) シラバスを読んでおく
第2回	日本のファッション：平安時代	(学修内容) 平安時代の服装と身分、ジェンダーについて  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第3回	日本のファッション：江戸時代の社会と服装	(学修内容) 江戸時代の身分制と服装について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第4回	日本のファッション：江戸時代の女性の服装	(学修内容) 江戸時代の身分と女性の服装について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第5回	日本のファッション：近代の服装	(学修内容) 近代の街頭調査にみる女性のファッションについて  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第6回	現代の和服産業	(学修内容) 和服産業の現状について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第7回	高度経済成長期の服飾	(学修内容) 合成繊維産業の発達と既製服について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第8回	西洋のファッション	(学修内容) ロココの時代のファッションについて  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第9回	西洋のファッションと近代化	(学修内容) コルセットからの解放とファッションの変化について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第10回	デザイナーの出現	(学修内容) 近代社会の形成とデザイナーについて  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第11回	デザイナーの活躍：シャネル	(学修内容) シャネルの生涯とデザインについて 映像の鑑賞とディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第12回	デザイナーの活躍：ディオール	(学修内容) ディールのデザインについて  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第13回	デザイナーの活躍：日本人デザイナー	(学修内容) 日本人デザイナーの活躍について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第14回	ファストファッション	(学修内容) ファストファッションの出現と特徴について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 配付資料を読んでおく
第15回	現代社会における課題	(学修内容) 現代社会における衣生活に関わる課題について  (事前事後学修課題の内容) (30分) 課題について考える

授 業 名	ジェンダー論Ⅱ				開 講 学 年	2・3・4回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Gender Studies				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	斧出 節子				対 象 学 生	現代家政2回生・3回生・4回生、食物栄養2回生・3回生				
授業の概要	「女性である」「男性である」ということは、あまりに当たり前すぎて日常的に意識化されないことが多い。しかし、人は生まれた瞬間から女性または男性いずれかのカテゴリーに入れられ、文化的・社会的にふさわしい行動が期待される。本講義ではまず、どのような過程を経て、女性、男性になっていくのかを「社会化」という点からとらえ、「ジェンダー（文化的・社会的性差）」を相対化することを試みる。そして、現実の生活の中でジェンダーがどのように機能し、どのような課題を含んでいるのかを探っていく。									
学 修 成 果 到 達 目 標	1）ジェンダーとは何かについて理解することができる。 2）現代社会におけるジェンダー差の課題について理解することができる。 3）自分自身、今後開発すべき能力は何かを理解することができる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解				汎用的技能				
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力				
アクティブ・ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 （ 80 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		平常試験 （ 20 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解      コミュニケーション能力      プレゼンテーション能力      課題発見・解決能力 授業態度・参加意欲      （      ）      （      ）      （      ）								
テ キ ス ト	『女性学・男性学 ジェンダー論入門』伊藤公雄ほか（有斐閣アルマ）									
参 考 書	『初めて学ぶジェンダー論』伊田広行 著（大月書店）、『よくわかるジェンダー・スタディーズ』木村涼子ほか編著（ミネルヴァ書房）、『ジェンダー論をつかむ』千田有紀ほか著（有斐閣）、『未来をひらく男女共同参画 - ジェンダーの視点から』西岡正子編（ミネルヴァ書房）、『働く女子の運命』濱口桂一郎（文春新書）ほか、随時紹介する。									
課題に対する フィードバック の方法	フィードバックとして、リアクションペーパーに対してコメントをします。									
留 意 事 項	遠くの誰かの問題ではなく、自分自身の問題として考えてください。ディスカッションも行い、受講者は授業への積極的な参加が求められます。									
オ フ ィ ス ア ワ ー	毎週1回（休業期間中を除く。）オフィスアワーを設けます。具体的な日時は研究室に張り出します。 【備考】オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで在室できない場合があります。また、あらかじめ予約が必要な場合がありますので、その場合は、メールまたは直接申し出るようにしてください									
実 践 的 教 育	実践的教育 教員の実務経験など：大阪市立高校教諭(家庭科・保健科) 大阪市阿倍野保健所非常勤心理相談員 (財)21世紀ひょうご創造協会 兵庫県家庭問題研究所非常勤嘱託研究員 (公財)京都市男女共同参画推進協会 理事長      (公財)世界人権研究センター 嘱託研究員									

授 業 名	ジェンダー論Ⅱ	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	セックスとジェンダーの違い	(学修内容) 概念説明 (事前事後学修課題の内容) (30分) シラバスを読み、授業計画の全体像を把握しておく。
第2回	「らしさ」とは何か	(学修内容) 男らしさ、女らしさについて考える(グループワーク含む)。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第3回	男女二分法について	(学修内容) 二つに分けることはどういうことを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 前回の講義について復習すること。
第4回	性における多様性：性の複数の次元	(学修内容) 性の複数の次元について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第5回	性における多様性：性の少数派	(学修内容) 性の少数派について理解する。ビデオ学習し、ディスカッションする。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第6回	文化とジェンダー	(学修内容) 文化によるジェンダーの違いを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第7回	幼児期の性の社会化	(学修内容) 親と子どもの相互作用について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第8回	シンデレラとジェンダー	(学修内容) 映像を分析する(グループワークを含む)。 (事前事後学修課題の内容) (30分) グリム童話について調べておくこと。
第9回	メディアがジェンダーに与える影響	(学修内容) メディアが与える影響について考える(グループワークを含む)。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 課題レポートを作成しておくこと。
第10回	教育とジェンダー：隠れたカリキュラム	(学修内容) 隠れたカリキュラムについて理解する。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 前回の授業内容をまとめておくこと。
第11回	教育とジェンダー：隠れたカリキュラムの実態	(学修内容) 自分の経験をもとに、隠れたカリキュラムの実態について考える(グループワーク、ディスカッションを含む)。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第12回	デートDVとジェンダー	(学修内容) デートDVの実態とメカニズムを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) DVとは何か調べておく。
第13回	子育てとジェンダー	(学修内容) 家庭における子育ての実態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) テキストの関連箇所を読んでおく。
第14回	子育てにおけるジェンダー問題	(学修内容) ジェンダーの視点からみた子育ての課題について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) ジェンダーの視点からみて、子育てにはどのような問題があるか調べておく。
第15回	まとめ	(学修内容) これまでのまとめと今後の課題を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 疑問点をまとめておくこと。

授 業 名	健康マネジメント				開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Health Management				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	竹市 仁美				対 象 学 生	現代家政2回生				
授業の概要	生涯を通じて健康なからだところを維持することは、人生をより豊かにするために重要である。 講義・ワーク形式の授業を通して、健康に影響を及ぼすさまざまな要因についての知識を広めるとともに、より健康に生活するための思考やスキルを身に付ける。それらを自実生活の中で実践し、自分だけではなく、周囲の人たちの健康長寿を目指すことを目標とする。									
学 修 成 果 到 達 目 標	1 ) 健康の大切さを理解することができる。 2 ) 生活習慣病の背景要因を理解することができる。 3 ) 若年女性の健康問題について理解し、予防に取り組むことができる。 4 ) 健康を維持するためのさまざまな実践方法を理解することができる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解				汎用的技能				
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力				
アクティブ・ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 （ 60 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 （ 40 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲	コミュニケーション能力 （ 汎用的能力 ）		プレゼンテーション能力 （	課題発見・解決能力 （		）		
テ キ ス ト	日本健康マスター検定 公式テキスト（NHK出版）									
参 考 書	使用しない。									
課題に対する フィードバック の方法	レポートを添削後返却する。 個人の健康意識調査結果を判定後、コメントとともに返却する。									
留 意 事 項	積極的に発言するよう努力すること。 目指す行動が習慣化するよう継続して取り組むこと。									
オ フ ィ ス ア ワ ー	初回の授業で連絡します。									
実 践 的 教 育	実践的教育 教員の実務経験など：管理栄養士として保健所で勤務。実務経験をもとに栄養・運動・災害対応などについて話します。									

授 業 名	健康マネジメント	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	「健康」と「健康を支える仕組み」 健康状態の把握	(学修内容) WHOの健康の定義を基に、健康について改めて考える。 自分の健康状態について、血圧や体脂肪などの測定を行う。(測定) (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト予習・復習
第2回	食生活と健康 「エネルギーの摂取」 食生活アセスメント	(学修内容) 食事のエネルギーについて、栄養学的な視点で学ぶ。 自分の食生活傾向を知るための調査票記入を行う。(実習) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習 エネルギーに関する自分の考えをまとめる。
第3回	食生活と健康 「塩分摂取」	(学修内容) 健康と塩分の関係について学ぶ。 自分の塩分摂取について確認する。(測定) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習 普段飲んでいる味噌汁を持参すること
第4回	食生活と健康 「食品表示」 「自己の食生活傾向」	(学修内容) 特別用途食品など、市場に出回る食品表示の見方を学ぶ。 必要な食事量と栄養素の関係について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習 おやつのパッケージを持参すること
第5回	食生活と健康 「野菜や果物の必要性」	(学修内容) 野菜や果物の役割について学び、健康問題との関係や各自の摂取する工夫などを提案する。(グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習 市販の野菜や果物についてトピックを調べる
第6回	疾病の予防 がん対策	(学修内容) 疾病の予防の段階について学ぶ。 日本のがん罹患の現状や対策を学び、予防法について考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト予習・復習
第7回	嗜好を見直す 「飲酒や喫煙」	(学修内容) 嗜好品の利用実態について考える。 若者の健康問題について話題を発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習 飲酒・喫煙に関するのニュースを検索する
第8回	睡眠と心の健康運動と健康づくり	(学修内容) ストレスと睡眠について、健康との関係について学ぶ。 リラクセス法について体験する。(実習) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト予習・復習 睡眠に影響する要因を調べる
第9回	身体活動・運動と健康	(学修内容) 健康づくりに役立つ運動について学ぶ。 日常生活に取り入れられる運動を実践する。(実習) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト予習・復習 動きやすい服装を準備する。
第10回	口の健康と感染症	(学修内容) 口の中から見える全身の健康問題について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習
第11回	女性の健康	(学修内容) 月経・出産・更年期など、ライフステージの変化に伴う女性の健康と生活の工夫について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習
第12回	高齢の家族の健康	(学修内容) 増加する高齢者問題や高齢者の身体的特徴について学ぶ。 家族や地域として見守る視点について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの予習・復習
第13回	救急の知識 災害への備え	(学修内容) 緊急事態の対処法や心構えについて学ぶ。 災害への備えについて学び、アイデアを出し合う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 家庭の備蓄や防災意識を聞きまとめる
第14回	健康観について	(学修内容) 健康観の相違について実感し、お互いの考えから良い方法を模索する。 (グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(90分) 課題について根拠を検索し、討論の準備をする。
第15回	まとめと確認	(学修内容) 授業から得た知識を総合的に考え、健康の大切さについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(90分) テキスト全般の復習

授 業 名	災害と防災				開 講 学 年	3回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Disaster and Disaster Prevention				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選択	
担 当 者	川島 智生				対 象 学 生	現代家政3回生				
授業の概要	災害と防災について、東日本大震災・阪神大震災・伊勢湾台風・関西大風水害・関東大震災などの大災害を事例に被害と復興を学ぶ。歴史・都市集落・建築・復興・対策をキーワードとして、解説をおこなう。災害と防災の学習をより身近なものにするためにフィールドワークとして、災害痕跡や地域防災拠点の見学を実地する。ビデオを見たり、ディスカッション、プレゼンテーションをおこないながら授業を進める。									
学 修 成 果 到 達 目 標	災害と防災についての内容ならびに意味を理解できる。災害と防災の現状を把握することができる。今後の防災のありようを提言することができる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解					汎用的技能			
		態度・志向性					総合的な学習経験と創造的思考力			
アクティブ・ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 （ 50 ％ ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 （ 50 ％ ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解      コミュニケーション能力      プレゼンテーション能力      課題発見・解決能力 授業態度・参加意欲      （								

授 業 名	災害と防災	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	(学修内容) 半年間のスケジュールならびにオリエンテーション (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストに目をとおすなどの事前学習
第2回	災害の歴史	(学修内容) 災害の歴史についての説明 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を事前学習
第3回	災害の種類	(学修内容) 地震・火災・台風・水害についての説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第4回	構築物と災害	(学修内容) 建物や橋、堤防などの構築物と災害の関わり方の説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第5回	事例紹介1 東日本大震災1	(学修内容) 東日本大震災と津波についての説明1 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第6回	事例紹介2東日本大震災2	(学修内容) 東日本大震災と津波についての説明2 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第7回	事例紹介3 阪神大震災	(学修内容) 阪神大震災と火災についての説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第8回	事例紹介4 関西大風水害	(学修内容) 関西大風水害と建物倒壊についての説明 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を事前学習
第9回	事例紹介5 関東大震災	(学修内容) 関東大震災と建物倒壊・火災についての説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第10回	フィールドワーク1	(学修内容) 京都の災害の痕跡のフィールドワーク (事前事後学修課題の内容)(30分) 当該地域の事前学習
第11回	防災と法整備	(学修内容) 防災と法整備についての説明 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの該当箇所を事前学習
第12回	防災と地域社会	(学修内容) 防災と地域社会についての説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第13回	防災と復興計画	(学修内容) 防災と復興計画についての説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) テキストの該当箇所を事前学習
第14回	フィールドワーク2	(学修内容) 地域防災拠点の見学 (事前事後学修課題の内容)(30分) 当該地域の事前学習
第15回	災害と防災のプレゼンテーション	(学修内容) 災害と防災についてのプレゼンテーション (事前事後学修課題の内容)(90分) 各自パワ - ポイントの作成と発表の準備



授 業 名	生涯学習論				開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Theory of Lifelong Learning				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	岸 優子				対 象 学 生	現代家政2回生				
授業の概要	人は生まれたときから死ぬまで自ら学ぶ存在であるといわれる。生涯学習の理念やその歴史的展開を学ぶことを通して、自らが生涯学び続けることの意味を考える。さらに学びを支える側の立場や考え方、支援体制を知り、生涯学習の意義と重要性を理解して、自らの生活に生かしていける視点を持つことができる。									
学 修 成 果 到 達 目 標	1 ) 生涯学習の理念、現状と課題などについて基本的知識を習得することができる。 2 ) だれもが・いつでも・どこでも学習できる「学習社会」の在り方を理解することができる。 3 ) 人生初期の学習に限定するのではなく、成人や高齢者をも視野に入れた人生100年時代を生きるための学習活動を支援・推進する方策を提示することができる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解				汎用的技能				
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力				
アクティブ・ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 （ 60 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		平常試験 （ 40 % ）	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲		コミュニケーション能力 （		プレゼンテーション能力 ）		課題発見・解決能力 （		
テ キ ス ト	適宜、プリントを配布する。									
参 考 書	適宜、授業中に紹介する。									
課題に対する フィードバック の方法	受講生は、毎回、「振り返り用紙（学びのポートフォリオ）」を提出する。担当者が点検し、各自の「学びの履歴」を確認する。担当者は、適宜、添削・助言等をする。									
留 意 事 項	授業中に出示された課題については主体的に取り組むこと。なおフィールドワークについては、事前に受講生と充分相談・説明のうえ、見学先の開館日・時刻、場所等により、授業時間外の曜日・時刻に実施することもある。また受け入れ施設の都合により見学先を変更せざるを得ない場合もある。やむを得ず見学を欠席する場合は、必ず、事前に連絡すること。見学当日の無断欠席は、単位取得の意思がないものとみなす。									
オ フ ィ ス ア ワ ー	初回の授業で連絡する。									
実 践 的 教 育	実践的教育 教員の実務経験など：子育て支援員（相談活動）									

授 業 名	生涯学習論	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	オリエンテーション	<p>（学修内容）本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（20分） 予習として、シラバスを読んで内容、評価方法などを確認しておく。</p>
第2回	生涯学習とは何か	<p>（学修内容）生涯学習の理念について基本的考えを理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（40分） 予習として身近なところで生涯学習に関わることがどのように行われているかについてまとめる。</p>
第3回	人間形成と生涯学習	<p>（学修内容）自らが考えるライフコースの中で「学ぶこと」の意味について考えることができる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 予習として自ら生涯にわたって学習することの意味について箇条書きにまとめる。</p>
第4回	生涯発達と発達課題ワーク	<p>（学修内容）人間の生涯にわたる発達段階とそれぞれの発達課題の内容について具体的に考察する。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 自らの今後の人生を見通し、学ぶことの意味・必要性について考えてくる。</p>
第5回	生涯学習論の発端と経緯についてワーク	<p>（学修内容）生涯学習論の発生の背景とその後の経緯について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、プリントの要点を箇条書きにする。</p>
第6回	ラングランの生涯教育論	<p>（学修内容）ラングランの提唱した生涯教育の理念について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習としてプリントを読んでラングランの考え方の要点をまとめる。</p>
第7回	日本における生涯教育の理念	<p>（学修内容）日本における生涯教育、生涯学習についての基本的考えを理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、日本の生涯教育・生涯学習の歴史的経緯について要点を箇条書きにまとめる。</p>
第8回	諸外国における生涯学習論にみる学習観	<p>（学修内容）諸外国における生涯学習論にみる歴史的経緯と学習観、人間観について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習としてプリントを読んで要点をまとめる。</p>
第9回	OECDのリカレント教育	<p>（学修内容）OECDのリカレント教育について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習としてプリントを読んで要点をまとめる。</p>
第10回	日本における生涯教育論の展開	<p>（学修内容）日本における生涯教育論から生涯学習論への歴史の変遷について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、生涯学習社会の制度的変遷の要点を箇条書きにまとめる。</p>
第11回	日本における生涯学習の必要性和各種審議会答申について	<p>（学修内容）社会教育審議会、中央教育審議会などにみられる生涯教育の理念と具体案について理解できる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、プリントを読んで、生涯学習の考え方の歴史的変遷の要点をまとめる。</p>
第12回	生涯学習社会を担う施設について ワーク（フィールド） 社会教育施設（図書館・博物館等）	<p>（学修内容）生涯学習社会における社会教育施設の役割について理解することができる。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 予習として、自らが興味・関心のある市町村の図書館、博物館などが地域社会に果たす具体的役割について調べる。</p>
第13回	生涯学習社会を担う施設について ワーク 社会教育施設（公民館等）	<p>（学修内容）生涯学習社会における社会教育施設の役割について考察する。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、社会教育施設が今後の自らの生涯学習との関わりについて果たす役割についてまとめる。</p>
第14回	生涯学習社会における社会教育について	<p>（学修内容）生涯学習の中核を担う社会教育の役割について考察する。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 復習として、社会教育の具体的内容について要点をまとめる。</p>
第15回	生涯学習の事例発表 プレゼンテーション	<p>（学修内容）自らが住みたい地域社会の生涯学習の取り組みについて調べたことを発表する。</p> <p>（事前事後学修課題の内容）（60分） 予習として各自、構想した生涯学習についての発表用資料を準備する。</p>

授 業 名	ターミナルケア論 u				開 講 学 年	3・4回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Theory of Terminal Care				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選択	
担 当 者	野田 隆生				対 象 学 生	現代家政3・4回生				
授業の概要	私たちは、この世に生を受けた瞬間からすでにあの世（死）へと向かう存在となっている。本講では、現代社会における誕生と死の実態を起点に、ターミナル・ケアのありようについて学んでいく。さらに、生殖補助医療や安楽死などについて正しく理解し、それに対応できるような事例を取り上げながら、その課題について考察を深めていく。									
学 修 成 果 到 達 目 標	1 ) 現代社会における誕生と死の実態について説明することができる。 2 ) 全人的な痛みの背景について説明することができる。 3 ) 「ターミナル・ケア」「ホスピス」「ビハーラ」「P C U」等の用語について理解し、説明ができる。									
学 位 授 与 の 方 針 と の 関 連		知識・理解				汎用的技能				
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力				
アクティブ・ ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション			
評 価 方 法	定期試験 ( 70 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 30 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲		コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )	課題発見・解決能力 (	)			
テ キ ス ト	使用しない。配布資料あり。									
参 考 書	藤腹明子著『仏教看護論』三輪書店2007年、小畑万里編著『地域・施設で死を看取るとき いのちと死に向き合う支援』明石書店2012年、垂水雄二著『生命倫理と環境倫理 生物学からのアプローチ』八坂書房2010年、マリロイド編 若林佳史訳『緩和ケアにおける心理社会的問題』星和書店 2011年、宮川俊行著『安楽死の論理と倫理』東京大学出版局1979年、中澤正夫著『死のメンタルヘルス 最期に向けての対話』岩波書店2014年、香西豊子著『流通する「人体」 献体・献血・臓器提供の歴史』勁草書房2007年、村上陽一郎著『死 の臨床学 超高齢社会における「生と死」』新曜社2018									
課題に対する フィードバック の方法	1 ) 小レポートについては、コメントを付けて返却する。 2 ) 授業冒頭には、前回のふりかえりを行い、必要な解説を行う。									
留 意 事 項	安直な動機での履修は歓迎しない。問いかけに対して自ら問題意識をもつように心がけること。 グループもしくはペアワークを取り入れながら、学生の意見を基調に進めていく。									
オ フ ィ ス ア ワ ー	授業初回時に連絡をします。 基本的に研究室に在室していれば対応をします。また、急な質問等については学内g-mailを利用して下さい。									
実践的教育										

授 業 名	ターミナルケア論 u	
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	はじめに ～「死」とは何なのか？～	(学修内容) 講義の進め方、成績評価の方法について解説した後、「死」に関する意識調査アンケートを行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスから学びの道筋をイメージしておく。
第2回	現代社会における誕生と死	(学修内容) 統計資料に基づく誕生と死の現状を把握し、社会とのつながりについて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 『国民の福祉と介護の動向』もしくは人口動態統計のサイトを閲覧しておく。
第3回	社会問題としてのターミナル・ケア	(学修内容) ターミナル・ケアが社会問題となっている背景について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 『国民衛生の動向』を閲覧しておく。
第4回	ターミナル・ケアの歴史 ～ホスピス・PCUの成立過程～	(学修内容) ターミナルケアの歴史をその語源よりたどりながら、ホスピスならびにPCUへと変遷する過程について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第5回	ターミナル・ケアの歴史 ～ビハーラの誕生と成立過程～	(学修内容) 仏教を基盤としたターミナル・ケアの成立過程について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第6回	ホスピス病棟の紹介 ～遺族へのケアについて～	(学修内容) 遺族へのケアについて映像を通じて理解する。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第7回	死にゆく人の「苦しみ」と「痛み」 ～心理的・社会的ニード～	(学修内容) 全人的痛みの理解とその援助について事例を通じて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第8回	死にゆく人の「苦しみ」と「痛み」 ～スピリチュアルニード～	(学修内容) 全人的痛みの理解とその援助について事例を通じて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第9回	ビハーラ病棟の紹介 ～患者からの最期のことば～	(学修内容) 映像を観て、シートに記録する。 演習形式 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第10回	ビハーラ病棟の紹介 ～痛みからの解放～	(学修内容) 映像を観て、シートに記録する。 演習形式 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第11回	宗教者の役割について ～ビハーラ僧の場合～	(学修内容) 映像と事例を通じて解説を行う。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第12回	MSWの役割と機能について	(学修内容) MSWの事例紹介を通じて、ターミナル・ケア期における福祉援助の基礎について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(50分) 紹介した書籍を読む。
第13回	生死をめぐる諸問題 ～生殖補助医療とその課題～	(学修内容) 生殖補助医療の現状と代理出産の現実から、主題に迫っていく。 資料をよく読み込んだ上でディスカッションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 生殖補助医療や代理出産について調べておく。
第14回	生死をめぐる諸問題 ～安楽死と尊厳死～	(学修内容) 安楽死と尊厳死の違いを理解し、現場にて齟齬なく援用できるようになることの必要性を事例を通して学び、ディスカッションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 安楽死・尊厳死・脳死・臓器移植について調べておく。
第15回	まとめにかえて ～「生ききる」ことを支えるケアとは～	(学修内容) 「生ききる」ことを支えるケアについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) これまでの学びについて各回の要点を押さえておくことと、配布資料に目を通しておくこと。